

「第2次富山市公共施設マネジメントアクションプラン実行編」
パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

「第2次富山市公共施設マネジメントアクションプラン実行編」について、パブリックコメントを実施した結果、次のとおりご意見が寄せられましたので、それに対する市の考え方と併せて公表いたします。

意見募集期間：令和4年1月21日（金）から2月14日（月）まで

意見者数：2名

意見数：4件

No.	ご意見（原文のまま）	市の考え方
1	<p>「大山歴史民俗資料館」は、周辺住民もほぼ利用していないと聞いている施設であり 今後の別のあり方で大山地区で維持管理の費用は、無駄だと判断する。</p> <p>この存続費用を高齢化が進むこの地区に福祉施設の拡充もしくは、公共交通機関の充実が必要であると考えます。</p> <p>特に大山地区の電車、バスの数が少なく結果的に高齢者に自家用車で生活する環境を提供しているように推移している。</p> <p>公共交通機関があれば、近隣の福祉施設、商業施設に自家用車ではなく公共交通機関で通うことができる。</p> <p>このような施策に費用をあてるべきだと考える。</p> <p>もしくは、子供の教育平常化として教育支援の施設拡充をお願いしたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>公共施設の再編を進めるにあたっては、それぞれの施設分類ごとに、地域の持つ課題や特性などを踏まえ、地域住民の合意を得た上で、進める必要があるものと考えております。</p> <p>本市では、公共施設の再編については、市民の皆様から様々なご意見があることは十分承知しておりますが、限られた財源の中で、年々多様・複雑化している行政ニーズに対応するためには、避けては通れないものであり、将来市民にとって負担になるものを残さないようファシリティマネジメントに今から取り組んでいくことが、若い世代の方々への安心感につながるものと確信しております。</p> <p>「大山歴史民俗資料館」については、利用者が少なくなっているものの地域の文化を伝承する貴重な財産であることを踏まえ、利用状況を考慮し、運営方法を見直すとともに、より多くの人が集まる施設・場所への機能移転などを検討することにしております。</p>
2	<p>「大山老人福祉センター」は、大山地区(大庄地区)では唯一といい。</p> <p>そのため、新設もしくは拡充をお願いしたい。</p> <p>上記でも説いているが、高齢化が進む地域で福祉施設がなくなるリスクが高いと考える。</p> <p>今後、廃止した場合、高齢者の自家用車利用率が上がることを推進しているのととらえられる。</p> <p>民間の福祉施設があり、十分な福祉施設があるのであれば、その限りではない。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化などの都市機能の集約を図ることにより、20年先、30年先の将来市民にも責任が持てる持続可能な都市経営を確保するため、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを進めており、公共施設の再編もこれと歩調を合わせて進めていくことが重要であると考えております。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

		<p>老人福祉センターについては、「富山市公共施設等総合管理計画」において、高齢者の今後の人口推移やニーズの多様化等から、今後、機器の更新や大規模な施設修繕が必要となった場合や利用者が一定の基準以下になった場合は、施設等の更新を行わないこととしております。</p>
3	<p>「大山バス管理センター」は、もっと利用できる時間帯を増やせないだろうか？</p> <p>コミュニティバスの利用率を見るとしているが、利用できる時間帯があまりにも少なく利用者が増える施策になってないにも関わらず、利用率を見ようとしている。</p> <p>これは、すでに利用率が下がることを前提としているとしか考えられず、本来、高齢化が進むこの地域での必要な公共交通機関を何らかの理由をつけて廃止に追い込もうとしているように思える。</p> <p>仮に「大山バス管理センター」がなくなったとしても、富山市中心から大山地区までの公共交通機関拡充をお願いしたい。</p> <p>特に大庄地区は、公共のバスがなく、コンパクトシティである都市部中心に高齢者は、移動できない状態である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>大山バス管理センターは、大山コミュニティバス事業における運営事務所およびバス車庫となっております。</p> <p>この施設については、バスの運行自体のことも考慮しながら、今後の在り方を検討することとしております。</p> <p>本市では、地域公共交通の維持や活性化などの都市経営の視点を持ちながら、公共アクセスや提供する行政サービスなどが最適になるよう、公共施設マネジメントを進めてまいりたいと考えております。</p>

No.	ご意見（原文のまま）	市の考え方
4	<p>既存の施設で解体改修工事の必要なものをリストアップし、優先順位をつけていく</p> <p>災害時避難所でも水害などでかかる避難所があり、その場所がかからないようであれば避難所として使用できるよう改修してはいかがか？</p> <p>また、災害時、救助隊員などの休養施設、待機場所として使えるようにしてはいかがか？</p> <p>（海外にはそのような場所が災害時作られています。集結拠点として利用されています。</p> <p>解体にするべきか耐震改修にするべきかは費用などを出していただき、それから決定すればいいと思う</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、市民の誰もが安全で安心して暮らせる防災都市づくりを推進するため、「富山市地域防災計画」を策定しており、この計画に基づき、多くの公共施設が指定避難所となっています。</p> <p>公共施設が避難所であるかどうかは、非常に重要な視点であることを踏まえ、今後具体的な再編整備方策を政策決定する際には、代替施設の有無や地域特性といった様々な要素を念頭に置きながら、公共施設の再編を進めてまいりたいと考えております。</p>